

新年のごあいさつ

ふるさと五城目会長 高澤博彦



町民の皆さまをはじめ関係者の皆さま、そして会員の皆さま、あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、ご家族共々お健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、五城目町は、2年連続となる大雨災害により甚大な被害に見舞われました。町民の皆さまに対し謹んでお見舞いを申し上げます。いまだ復興途上と思われませんが、災害から立ち上がり、素晴らしい新年になる事を祈念します。

さて、ふるさと五城目会の活動についてご報告いたします。当会では、五城目町とその姉妹都市である東京都千代田区との架け橋となるべく、様々な活動を推進しております。昨年は、区内各町会や子ども交流、文化や体育での交流などを通じて多くの行事を実施いたしました。文化交流では、神田祭りの神輿渡御に参加しました。これは、我々の先輩である松橋福蔵さんが千代田区との姉妹都市締結の御縁を頂いた内神田旭町会への御輿渡御です。秋田の殿様佐竹藩主のお屋敷がこの地にあったことをヒントに、千代田区との姉妹都市交流に発展していきました。今もこの地に佐竹稲荷神社があります。この旭町会への神輿担ぎ棒には、表に「旭町」、裏に「五城目」の刻印があります。江戸三大祭りといわれるこの祭りに会員9名で参加し、交流を図りました。また、10月に延期となった「きやどっこまつり」では、子どもたちを対象とした無料くじを実施いたしました。また、当会では「もつと森山をもりあげ隊」も隊」の活動支援も行ってまいります。森山の第2高地にある希望の鐘は、前述した松橋さんが五城目町に寄贈したものです。その希望の鐘には、次の刻印があります。

「心豊かに 大きな望める英知 勇気に満ちて さあ羽ばたけ 鐘をつく人」

まさに五城目町民の希望の鐘です。工藤兼雄代表・荒川滋副代表と共に私も副代表として活動を行い、4年目を迎えました。3も隊では、定期登山や登山道の整備、町の花であるやまゆりの植栽など行っており、昨年にはその功績が認められ「県環境大賞」を受賞いたしました。今後も、当会としてできる限りの支援を継続していきたく思っております。

当会は、現在の会員総数が213名、平均年齢が75・2歳と高齢化が進んでおり、若年層の会員獲得が最重要課題となっております。あらゆる媒体を通じて情報発信を行い、町とも連携しながら活動継続を図りたいと考えております。町民の皆さまにおかれましては、ご子息・ご親戚・知人の首都圏在住者への働きかけにより、ぜひとも、当会の活動内容をご理解の上、新規会員獲得のために一助頂ければ幸いです。

当会は、我々のふるさとである五城目町民と共に寄り添い、互いの交流、発展のために今後とも尽力する所存であります。結び、本年1年が皆さまにとって、実り多き年となりますようご祈念申し上げます。ふるさとを想うこととさせていただきます。



畑沢 〇〇さん (17歳・東磯ノ目)

県立五城目高等学校2年、バスケットボール部所属。ポジションはスモールフォワードとパワーフォワード。10月から新体制となった五高バスケット部で、強みであるディフェンスの技に磨きをかけるため日々の練習に励みます。

リバウンドやディフェンスを生かしてチームに勝利を!

姉の影響で、小学校3年生からバスケットボールを始めたという〇〇さん。以降、高校2年生の現在まで、ずっとバスケットボール部に所属してきました。

現在の部員数は5人で、1人でも欠けると試合ができない状況です。そのため、1人が複数のポジションを経験することで、チーム全体として柔軟なプレイスタイルを確立する方針を立てました。〇〇さんは、インサイドとアウトサイドの両方で攻守にわり多彩な役割が求められる「スモールフォワード」と、ゴール付近で積極的に得点に絡み、リバウンドも重要な「パワーフォワード」を担っています。〇〇さんが自分の強みだと

語る「リバウンド」とは、シュートが外れた際のこぼれ球をつかみ取る行為で、試合の勝敗を分けると言われるほど重要なプレーです。パワーフォワードとして試合に出場した際には、ゴール付近でのプレーが中心となるため、シュートだけでなくリバウンドからの得点を意識しています。普段の練習では、あらゆるプレーにおいて“体の使い方”を意識しており、シュートやディフェンスなどの精度が試合ごとにばらつかないように気を付けているそうです。

そんな〇〇さんが印象に残っている試合として挙げたのが、11月25日に由利本荘市で行われた秋田高校との新人戦。結果は、74対65で惜しくも敗れてしまいました。自身のプレーを振り返り、「得意であるリバウ

ンドやディフェンスで実力を発揮することができなかった」と語ります。しかし、スリーポイントシュートをたくさん決めることができ、日頃の練習の成果を感じることができた試合でもあったと話します。

1月には県内の高校が集まる強化試合を控えており、〇〇さんは「冬期間は練習時間があまり確保できないため、自分たちのプレイスタイルを崩さず、万全の体制で臨みたい」と話しました。



左から3番目が〇〇さん

ゾーイのぞじょうめ日記



Zoe Fell (ゾーイ・フェル) イギリス・パークシャー出身。昨年8月から、町の外国語指導助手(ALT)に着任しました。

感謝にあふれた1年間

Hello Gojome Town, recently, I went to a "Thanksgiving Dinner". Thanksgiving remembers the first autumn meal shared between British settlers in America, and native Americans in the year 1621. It is a time for celebrating, sharing food and having gratitude.

The event was organized by an American ALT. Thanksgiving is a very big American holiday at the end of November. Some of my American ALT friends told me that in America, Thanksgiving is a bigger holiday than Christmas!

Because I am from the UK, I have never experienced a Thanksgiving dinner before. Everyone brought food to the party, and we all said one thing we are thankful for this year. It was a lot of fun to share this experience with Japanese, British, Australian, Chinese and American friends. I hope everyone in the town had a wonderful Christmas time, and a good new year.

Let's all have a healthy and fun 2024!

先日、感謝祭の夕食に出席しました。感謝祭とは、1621年の秋、アメリカに定住したイギリス人とアメリカの先住民が食べ物を分け合ったことが最初とされており、この時期には、お祝いをし、食べ物を分け合い、そして感謝するのが習慣となっています。

私が出席した感謝祭は、とあるアメリカ人のALT(外国語指導助手)の方が開催したものでした。このイベントは、11月下旬のとても大規模な祝日で、ALTの友人の中には、「アメリカでは、感謝祭はクリスマスよりも大規模な祝日だよ」と話す人もいます。

私はイギリス出身のため、これまで感謝祭の夕食を経験したことがありませんでした。みんなで食べ物をパーティーに持ち寄り、今年感謝したいことについて語り合いました。この経験を日本、イギリス、オーストラリア、中国、そしてアメリカの友人たちと共有できて、とても楽しかったです。

五城目の皆さんは、素敵なクリスマスと新年を過ごされたことだと思います。

2024年は、健康で楽しい1年にしましょう!



ぞじょうめの文芸



「短歌」

遠山にすでに雪あり

匂いなき吾亦香風の野に揺れやまず

大川 小熊 正明

千し柿を息子が作り食べ頃

秋の味覚をじっくり楽しむ

岡本 二方 征捷

毎日がフツフツと満たされず

あれから百日変化なしとは

西磯ノ目 小玉 明子

「俳句」

山眠るジビ工料理に手をあわす

八郎瀧町 北嶋美保子

「一川柳」

秋ですね別れのうたがラジオから

脇乙 いとう由海

時々貝になつてる聞き上手

西野 佐藤ちずる

仕事する母の教えで頑張った

長町 斎藤すすむ

本心を明かし優しい風に逢う

館町 細田 陽炎